

豊かな実りは自然の土壌から 【自然環境農法】



アープ・トーマス・オルガ菌と共に土づくりから

土づくりは、作物を健康に育てる基本です。

この基本を大切に当社は自然環境農法を推進致しております

蔬菜類の基本的な使用方法

使用方法 (10a 当たり)

目的	使用時期	通常使用方法
初期からの土壌改良に (施設栽培)	作付け1～2ヶ月前より	堆肥や基肥散布時に、源肥 20～30 袋・ミネラルこんぶ 5～10 袋 トーマスくん 5～70 散布耕起し、土壌含有水分を 60%位にし。ビニール養生する。 注、病害発生の圃場は 2～40 増しに。
栽培期間中の使用 (施設栽培)	約 30 日間周期で	トーマスくんと宝水を 1～30 ずつ混合して葉面又は灌水チューブ等で散布する。(予防効果大) 以後繰り返して行う。
露地栽培や中途からの使用	定植前	堆肥や基肥散布時にトーマスくんと宝水を 4～50 ずつ混合散布 栽培中トーマスくんと宝水を 1～30 ずつ混合希釈 (500 倍程度) して葉面から 1～2 回散布する。

散布は、水 100～150 倍程度の水で、均一に土が湿った状態の方が良いです。

施肥関係

※ 現行の施肥方法で良いですが、堆肥や、穀物かす、魚カス等の有機物を主体とした、有機質の肥料を推奨します。尚、使用量は、肥料効果が高まりますので現行栽培より 2～3 割程度減らしてください。



参考に

※状況が窒素過多気味の時に宝水カル 1.000 倍で 1～2 回散布は効果あり。
※害虫予防にはバイオ無敵 1000 倍液。



(株)バイオ・グリーン